

## (お 知 ら せ)



2023年10月2日  
日本原子力発電株式会社

### 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

#### 1. 発電所の状況について（2023年10月2日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定）

( ) 内は定格電気出力

#### <新規規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申請	申請日	補正日	許認可日
2号機	原子炉設置変更許可	2015.11.5	2023.8.31	—
	工事計画認可	—	—	—
	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

#### 2. 故障等の状況について（2023年9月1日～10月2日）

##### (1) 法律に基づく報告事象

なし

##### (2) 安全協定に基づく異常時報告事象

なし

##### (3) 保全品質情報等

###### ①敦賀発電所2号機 給水処理建屋における火災について

2023年8月31日10時13分ごろ、敦賀発電所2号機の給水処理建屋（非管理区域）において、タンクの溶断作業中のところ、火災報知器が発報し、同建屋にいた当社社員が出火を確認したことから、直ちに消火を行いました。10時20分に消防署へ通報し、11時01分に到着した公設消防による現場確認の結果、11時20分に鎮火が確認されました。

なお、本件において負傷者は発生しておらず、環境への放射能の影響はありません。

(8月31日お知らせ済み)

火災の原因を調査した結果、火気監視人が作業中断を指示した際、作業監督者は水噴霧を中断しましたが、ガス溶断者には近傍にあった排風機の運転による騒音の影響で指示が伝わっていなかったことが判明しました。

このため、ガス溶断作業のみが継続され、ガス溶断による入熱によりタンク内面のゴムライニングが延焼し火災が発生したと推定しました。

対策として、作業環境に応じて確実に作業指示を伝達する手段（電子ホイッスル等）を用いることを社内規程に定めるとともに、今回の事象を踏まえ、確実な情報伝達の重要性などについて所員および協力会社に周知しました。

（別紙参照）

### 3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（2023年10月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理、及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

### 4. その他

#### （1）【当社コメント】敦賀発電所2号機の原子炉設置変更許可申請の補正に係る審査の再開について

9月6日の原子力規制委員会の定例会合において、敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の今後の対応方針が示され、補正内容に係る審査の再開が了承されました。

当社は、引き続き、原子力規制委員会の審査に真摯かつ迅速に対応するとともに、敦賀発電所2号機の安全性、信頼性の向上と地域の皆様への積極的な情報提供に努めてまいります。

（9月6日お知らせ済み）

#### （2）げんでんふれあい活動

げんでんグループ社員が地域の皆様に直接、敦賀発電所の状況等をご説明させていただき、各戸訪問対話活動を下記のとおり実施しています。

〔活動名称〕げんでんふれあい活動「こんにちは！げんでんです」

〔活動期間〕2023年10月2日（月）～10月29日（日）

〔訪問先〕敦賀市内全戸及び周辺町の区長宅 約26,000戸

〔訪問者〕げんでんグループ社員約520人

#### （3）げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間：10時～17時】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております>

#### ①北村 壽恵子 個展 和布くらふと

北村 壽恵子 様による、着物リメイク作品展です。暖簾や間切り、バッグ、裂き編み作品などを75点展示予定です。

（10月3日～10月8日）

## ②敦賀市短歌人会

結成23年目になる敦賀市短歌人会（代表：澤田<sup>さわだ</sup> 信子<sup>のぶこ</sup> 様）の皆様による短歌色紙展です。会員皆様の想いを込めた作品を25点展示予定です。

（10月17日～10月22日）

## ③河崎<sup>かわさき</sup> 節子<sup>せつこ</sup> 手仕事展（2）

河崎<sup>かわさき</sup> 節子<sup>せつこ</sup> 様による手芸作品展です。ビーズ刺繍のバッグや、ちりめんを使ったつまみ細工など、様々な作品を50点展示予定です。

（10月24日～10月29日）

## ④フォトラブサークル写真展

フォトラブサークル（代表：笠原<sup>かさハラ</sup> 由和<sup>よしかず</sup> 様）の6名の皆様による写真展です。風景、人物、花などを被写体にした作品25点を展示予定です。

（10月31日～11月5日）

以 上

< 問 合 せ 先 >  
日本原子力発電株式会社  
敦賀事業本部 立地・地域共生部  
〔担当：富永、高橋〕  
電話：0770-25-5612

本事象は、法律に基づく報告事象や安全協定の異常時報告事象に該当するものではありません。

## 敦賀発電所 2号機 給水処理建屋における火災について（原因・対策）

2023年8月31日10時13分ごろ、敦賀発電所2号機の給水処理建屋（非管理区域）において、タンクの溶断作業中のところ、火災報知器が発報し、同建屋にいた当社社員が出火を確認したことから、直ちに消火を行いました。

同10時20分に消防署へ通報し、11時01分に到着した公設消防による現場確認の結果、11時20分に鎮火が確認されました。

なお、本件において負傷者は発生しておらず、環境への放射能の影響はありません。

（2023年8月31日お知らせ済み）

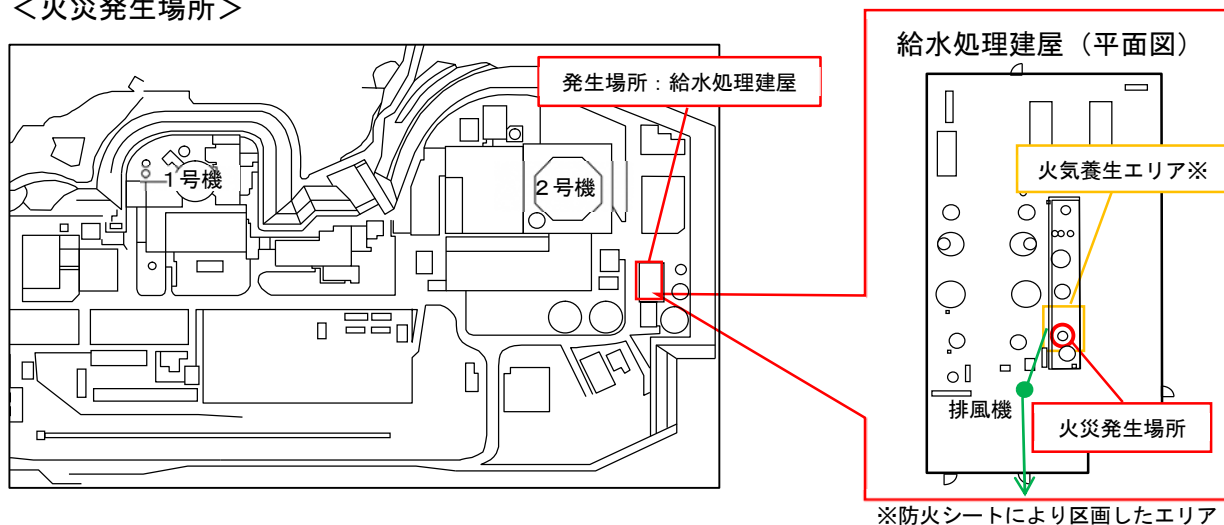
作業状況を確認したところ、今回のガス溶断作業においては、溶断対象物に可燃物（タンク内面のゴムライニング）が含まれていたことから、ガス溶断により発生する入熱を水噴霧により冷却を行いながら作業を実施していました。また、作業にあたっては、火気監視人を配置したうえでガス溶断者はガス溶断作業を行い、作業監督者は水噴霧を行っていました。

火災の原因を調査した結果、火気監視人が作業中断を指示した際、作業監督者は水噴霧を中断しましたが、ガス溶断者には近傍にあった排風機の運転による騒音の影響で指示が伝わっていなかったことが判明しました。

このため、ガス溶断作業のみが継続され、ガス溶断による入熱によりタンク内面のゴムライニングが延焼し火災が発生したと推定しました。

対策として、作業環境に応じて確実に作業指示を伝達する手段（電子ホイッスル等）を用いることを社内規程に定めるとともに、今回の事象を踏まえ、確実な情報伝達の重要性などについて所員および協力会社に周知しました。

### <火災発生場所>



### <火災状況図>

作業開始時	火災発生時	火災の状況
<p style="text-align: center;">火気養生エリア 水噴霧者（作業監督者） 火気監視人 ガス溶断者</p>	<p style="text-align: center;">火気養生エリア 火気監視人 ガス溶断者</p>	<p style="text-align: center;">※白い付着物は消火剤</p>
水噴霧により冷却を行いながらガス溶断作業を実施	水噴霧は中断したが、ガス溶断作業は継続したため、入熱によりタンク内面のゴムライニングが延焼し火災が発生	材質：炭素鋼 寸法：内径 約1m 高さ 約1.5m

以上